

【緑地の樹】

## サザンカ（山茶花）

日本暖地の山地に生える常緑小高木（5～6m）。

童謡「さざんか さざんか 咲いた道 焚火だ 焚火だ 落葉焚き…」でも歌われているように、関東以西の暖かい地方で庭木や生垣に広く利用されて来たので、ご存知の人が多いただろう。椿に似ているが、椿よりほっそりして小振り。



プロフィール：ツバキ科 ツバキ属

花広場入口から入って右奥に八重の白花サザンカが2本ある。

10月中頃白花から咲き始める。花は椿よりひらひらした感じ。

花弁は普通5枚。平らに開き、中心部には黄色い多数の雄しべがある。翌夏～秋に椿より少し小振りの実が熟し、お茶と同様3つに割れる。八重、色、形等様々な園芸種が多い。

（星）